



## 大西脳神経外科病院だより 第27号

# ふれいん

発行日：平成25年3月吉日

発行人：学術図書委員会

発行責任者：大西 英之

編集責任者：吉野 孝広

### 大西脳神経外科病院の理念

生命を尊厳し、科学の心と芸術的技術と人間愛をもって病める人々に奉仕する。

### 大西脳神経外科病院の基本方針

生命と人権を尊重した医療を実践する。

神経疾患の専門的・高度医療を実践する。

常に新しい医学の修得に励む。

救急医療は医療の原点と考え、24時間対応する。

地域の医療機関との連携を密にし、地域協力型の医療を志向する

### 「グローバルな視点で」 1月朝礼より

理事長・院長 大西 英之



今年は大西脳神経外科病院にとって記念すべき年になる大きな行事がいくつかあります。1つは既に終わりましたが1月29日から2月3日にかけて第7回国際脳神経外科学会がハワイで開催され、私が会長をさせて頂きました。

当院からも十数名の方にスタッフとして参加していただき成果を上げることが出来ました。

今秋には日本・ネパール親善の脳神経外科学会があり、この国際学会も私が会長を務めさせて頂きます。国内での実績はこの13年間で積み上げてきたと自負しています。今後は海外に目を向け情報発信ができる病院となるための「スタートの年」と位置付けています。

「世界でも名の知れた病院に」と言ったような名声が欲しい訳では無く、少しでも海外に目を向け、諸外国の医療レベルを知りそこに追いつき、追い越せるようにして行

かなくなくてはならないという事です。特別なことではないと思います、日々の研鑽を怠らず誠実に医療を行って行けば、グローバルな世界が広がり、海外との交流も深まり、自然と先が見えてくるはずで

す。2つ目は、4月から新たな休暇制度を始めようと考えています。これは1年間に3ヶ月間(90日)の休暇を与えるという制度です。基本内容は、4名1組になり90日間の休暇を取っている職員の業務を残りの3人がカバーするという形式です。この制度の目的は、ボランティア活動に参加したり、海外で様々な体験をしたり、短期で語学留学をしたり、若い時にこそ経験できないような貴重な経験を積むための時間を作る事です。必ずこれからの仕事にプラスとなるはずで

す。この制度の利点は身分が保障されていることです。休暇中ももちろん当院の職員であるため、健康保険はそのまま使えます。また、ボーナスも休暇中の4分の3のお給料を含め相当する額を支給します。このような制度を利用してい

ただき、外国へ行ってグローバルな視点を持ち、外国から日本を見つめ直す機会としていただけたら素晴らしいと思います。また今後は日本とネパールの人事交流も始めようと考えています。外国からドクターやナースが日本に来て研修を受けたり、逆に休暇制度を利用してネパールなどへ行き、外国の医療事情を体験することも可能です。積極的に参加して頂き、今年を国際交流スタートの年にしていきましょう。



3つ目は、大西脳神経外科病院のリニューアル

ルです。勿論新病棟が完成する事が最も大きな点ですが、6月新病棟がオープンした後、現病棟の改修工事も始まります。薬局、診察室の拡張、検査室の移転、病棟や他のスペースの改装、4階の事務室は南館へ移動した後、総合医局、手術研究室が新設されます。その工事は8月末までかかる予定です。病床数も現在の82床から122床と40床の増床となります。各部署とも増床に伴い現在の運営方法の見直しが急務となっています。更なる医療レベルの向上をめざしリニューアルに向け職員一丸となって取り組んでいきましょう。何事にも「気合」です。



## Humor (ユーモア) を忘れずに

副院長 久我 純弘



今年で12年、開院から干支が一周しました。そして待望の新病棟が完成します。今年の抱負は何と言ってもこの新病棟が完成することだと思います。特にこれまで1つの手術室で年間650件という驚異的な手術をこなしてきましたが、すでに限界を超えています。多くのスタッフが献身的に時間外勤務に協力してくれているお蔭で

成し遂げられてきました。手術件数もさることながら、ナビゲーションシステム、モニタリング関係などの術中の使用機器も増え、部屋そのものが手狭になってきました。新病棟が完成後は手術室が3つになり、さらにもう一つ、手術も可能な血管造影室（血管内手術も）、いわゆるハイブリッド手術室も加わります。血管内手術を行いながら同時に開頭手術を組み合わせて行うことができるようになります。

また、術中MRIも可能となります。これは手術室と1.5Tの超伝導MRI室がつながっており、脳腫瘍の手術などで術中に必要に応じ手術中にMRI室に移動し行い、どこまで切除できたかを確認できるようになります。その他にも新しい手術室にはより安全で高度の手術を可能にするためにいろいろな工夫がされています。

さまざまな術中モニタリングを行うとそれだけ手術時間もかかります。そのため、これだけ多くの手術を安全に行うためには複数の手術を並行して行う必要が生じてきます。当然ながらスタッフの数も必要になります。そのため、常勤麻酔科医も2名に増



員される予定です。

主に手術関係について紹介しましたが、患者さんに安全で快適な入院生活を過ごしてもらうに病棟のハード面にも工夫が施されたものと思いますが、なによりスタッフの気持ちの余裕が大切だと思います。最近では世界中、医療事故を防ぐために、数多くのマニュアルや委員会などができ、そのために多くの点検・確認・記載事項があり、多大な時間をとられます。時間に追われる仕事が続くと、ゆっくりと患者さんの話を聞きながらより良い医療をするということが難しくなりがちです。スタッフのための様々なアメニティも改善されていることと思います。どうか忙しい中でもhumorを忘れずに、気持ちの余裕を持って仕事をしていければと思います。



## 新たな幕開けの年

看護部長 上原 かおる



開院13年目を迎える今年は、学会、新棟竣工など大きなイベントが目白押しです。まず、1月下旬からの大西院長が会長を務めるハワイ学会で始まりました。そして、新棟増設工事は、4月竣工、6月オープンに向けて着々と進んでおり、徐々に出来上がっていく新棟を期待と不安が入り混じった気持ちで毎日見つめています。色々な意味で新たな幕開けの年だと感じています。

看護部においては、昨年来、増床に向けての看護師の人員確保と働き続けられる職場づくりを最重要課題として取り組んで参りました。現在も継続して取り組んでいます。加えて、新たな看護部体制づくりのための検討も進めており、病院及び看護部の運営が円滑にできるよう考えていきたいと思っています。

2013年新たなことといたしましては、まず、ナースキャップの廃止です。ナースキャップは、長い歴史の中で看護師の象徴であり、看護師を目指す者の憧れでもありました。しかし、近年、患者さまにナースキャップがぶつかったりする危険性や感染の問題が指摘されています。当院においても安全面と衛生面を考慮し、昨年よりナースキャップ廃止に向けて、プロジェクトチームを中心に取り組んで参りました。そして、2013年1月15日からナースキャップを廃止いた

しました。これからは、「ナースキャップは心の中に・・・」、患者さまに信頼と安心をもって頂ける身だしなみを心掛け、患者さまと向き合い、心に寄り添った看護に努めて参ります。

次に、待望の認定看護師誕生が近づいたことです。脳神経外科専門病院としての看護の質向上及びキャリア支援の目的で設けた認定看護師資格取得支援制度を利用するなどして、認定看護師教育課程を2名が修了し、2月に1名が修了予定です。春には脳卒中リハビリテーション



看護、摂食・嚥下障害看護、感染管理の認定看護師が誕生する予定です。認定看護師がリソースナースとなり、専門性を追求し、看護の質向上を図るための原動力となって活躍してくれることを期待しています。そして、ここ明石の地から脳神経外科看護を発信していきたいと考えています。

大西脳神経外科病院の第2ステージを実りあるものするために、病院・看護部の理念に基づき、安心・安全な医療の強化、教育の充実、働き続けられる職場づくりなど課題が山積していますが、看護の質向上と職員がやりがいを感じて生き生きと働ける職場を目指し、心して取り組んで参ります。どうか今年もよろしくお願いいたします。



看護の質向上と職員がやりがいを感じて生き生きと働ける職場を目指します

## 病院の理念に立ち返ろう

事務部長 藤井 健



6年ほど前に、私は経営学者・ピーター・ドラッカーの書籍にある次のエピソードと出会いました。このエピソードに触れて以来、仕事上の判断に迷うときなどにはよくその内容を思い起こしてきました。

「あるチェーン系の病院で、新任の病院長が最初の会議を開き、難しい問題だったが、全員が満足できる答えが出たと思った。ところが出席者の一人が『これはブライアン看護師を満足させるだろうか』と発言し、再検討され、遥かに良い解決策にまとまった。



ブライアン看護師は古手の看護師の一人で師長を務めた事もなかった。しかし彼女は新しいことが決定されようとするとき必ず『それは患者さんにとって一番良い事でしょうか』と聞く事で有名だった。

事実、彼女の病棟の患者は回復も早かった。やがて病院全体に『ブライアン看護師の原則』なるものが出来上がっていた。病院の誰もが常に『この病院の目的にとって最善の貢献だろうか』と聞くようになっていた。彼女が引退して10年経つが、彼女の原則は、彼女よりも教育や地位が上の人達に対して、今も高い要求を課している」という一節です。

話の舞台は病院ですが、これを企業に置き換え、患者さんを顧客とすれば全ての企業にも当てはまる内容です。

当院の理念には、「生命を尊厳し、科学の心と芸術的技術



と人間愛をもって病める人々に奉仕する」と、「患者さんに奉仕する」のが私たちの仕事であり責務であると謳われています。

開院から13年を経て、最新鋭の機器を備えた増築棟のオープンを迎える年頭に当たり、私は今一度、全職員がこの病院の理念に真摯に立ち返ることが必要であると考えています。

ドラッカーはまた組織人としての心得として「人生から何を得るかを問い、得られる物は自らが投じたものによる事を知った時、人は人として成熟する。組織から何を得るかを問い、得られる物は自らが投じたものによる事を知った時、人は人として自由になる」とも語っています。



今年は国際学会の開催に始まり、新棟完成、既設棟改修と、大変忙しい年になりますが、病院の理念に立ち返るとともに、大きな投資を行って規模の大きくなる病院のために職員としてどのように貢献していくかを考えて行動し、結果として職員一人ひとりにとっても実りの多い輝かしい1年となりますよう、“気合を入れて”参りましょう。



「それは患者さんにとって一番良い事でしょうか」この問いは医療従事者なら当然のはず

## 平成24年 院内研究発表会 院長賞の2部門です

平成24年12月8日毎年恒例の院内研究発表会が開催され3階病棟と秘書課が院長賞を受賞した。総評では埜本理事より、「各部署から出される研究発表は、年々レベルも上がりオリジナリティーに溢れています。今後も研鑽を続けさらなるレベルアップに期待します。」とのお言葉を頂いた。

### 院内における転倒転落フローチャート提示による効果 看護部3階病棟 杉浦 仁美 橋本 加菜

本研究は、転倒転落防止に使用する身体拘束の方法をフローチャートにより基準化することで、過剰な抑制、不必要な拘束が減少できたという報告である。この発表が院長賞となった大きな理由として、

- ① 転倒転落防止関連の基準設定により、スタッフの判断力に左右されにくい水準化されたフローチャートの作成した事。
- ② 実際に基準の設定が転倒転落防止身体拘束回避に有効であるかを量的に比較検討するために拘束具の種類を6段階に点数化した2点にある。

看護研究によくある問題として質的研究への偏りが挙げられる。質の比較は困難であり、如何に質的部分を数量化（量的）にするかが重要となると言われている。この発表では質的要素を数値化し量的に比較することに成功している（右図）。

患者の安全確保に身体拘束が必要なことは臨床上市む得ない事である、しかし余りに安全にだけ気を取られることは本研究にもあるように過剰な身体拘束を生む可能性は高い、これを数値化し方法が統一できる本研究の臨床成果に期待したい。



**抑制点数のカウント・計算の例**

- ・8/1夜勤帯に入院。
- ・8/1～8/2日勤帯まで4点柵を使用。
- ・8/2夜勤帯からう～ご君・4点柵を使用。
- ・8/4日勤帯からう～ご君除去、4点柵のみ使用。
- ・8/5日勤帯から3点柵へ変更。

抑制具の種類	点数
4点柵	1点
まっただ君	2点
う～ご君	3点
四肢抑制	4点
車いす用安全ヘルム	5点
体幹抑制	6点

  

	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/7	計
日		1点	3点	1点	0点			13点
夜	1点	3点	3点	1点				

### 外来クラーク新人教育プログラム

外来・手術室クラーク 吉田 亜希  
渡會 さやか 山崎 志保 河野 敬子



この発表は新入職員に対する教育プログラムを見直し、より有効で統一されたものを作成し効果を上げたと言う研究である。これまでの問題として

- ①教育者によって指導の順番が異なる。
- ②新入職員の業務習得までの時間がバラバラ
- ③カリキュラム化してないため個人の評価が困難

の3点を挙げ、100点満点によるチェックリスト全74項目を作成、A、B、Cのモデルケースによるチェックリストの実用、有効活用可能なものかの検証が行われている。スライドはA氏の評価が1年経過し遅れている事が数値化されている。本研究の評価ポイントはやはり独自に作成したチェックリストの内容ではないだろうか。これにより教育計画が立てやすくなったことは無論、業務経験に応じて、早期に習得可能な分野や、時間が必要と思われる分野が明確になり、個人に合わせて指導検討することが可能となった訳である。さらにこのチェックリスト項目の改定を進め内容の充実にも努めて頂きたいと思う。

業務習得率

		3か月	6か月	1年
A	事務	50	63	95
	案内	73	100	100
	電子カルテ	64	64	88
B	事務	50	68	100
	案内	91	100	100
	電子カルテ	56	68	100
C	事務	58	92	100
	案内	91	100	100
	電子カルテ	60	80	100

(%)

## もうすぐ春ですね

中条 さん

この話に出てくる虫は泣き虫でも弱虫でも腹の虫でもありませんし、勿論醜い虫でもありません。昆虫の虫です。

## 神戸の宝石



昆虫の中で「神戸の宝石」と呼ばれるキベリハムシがいます。ハムシとは、木や草の葉を食べる虫です。キベリハムシはハムシの中でも最大で最高に美しく日本では六甲山にしかいません。外来種で、おそらく外国から無賃乗船し、密航…神戸港で密入国（虫なので勿論捕まりませんが）食草のある六甲山の狭い一部に住み着いたのでしょう。身体が大きく飛翔力が弱いためここにしかいません。たった一頭が丹波篠山でみつかりましたが、これは強い風に運ばれていったものと思われます。私も一度この場所に行きましたが、あまりの美しさに勿体なくて採ることが出来ませんでした。まさに「神戸の宝物」そのものでした。



「キベリハムシ」翅のヘリが黄色いことからこの名があるという



## モナーク (帝王)

キベリハムシとは対照的に恐ろしく遠くへ飛び虫にオオカバマダラチョウがいます。別名モナーク (帝王) と呼ばれています。

このモナークは幼虫時代から毒草を食べて成長しているので虫の天敵である鳥もこの蝶は食べません。そのせいで帝王のように優雅にゆったりと飛べるのです。初夏にカナダで生まれ9月頃から南へ向かって移動します。大群で飛ぶため群れが来ると太陽が遮られて地上が薄暗くなるそうです。南米を目指して飛び、中にはカナダでマーキングされた蝶がメキシコで捕獲されたという記録があります。その距離なんと3600km。この蝶の凄いところはそれだけではありません。温暖の地で越冬を終えたモナークは4月頃になると今度はカナダを目指して帰っていくのです。そこで産卵をして3~4週間後にその生涯を終えます。

何ともご苦勞な運命を持った蝶ですね。

「オオカバマダラチョウ」翅が黄赤色の樺色で、斑模様のある蝶と言う意味。別名「モナークと呼ばれる。



## 編集後記

3月は旧暦では弥生ともよばれます。これは草木も弥（いよいよ）咲き始めるという意味があるそうで「木草弥生月（くさきやおいつき）」が短くなり弥生となったそうです。

春分も過ぎ、暖かくなり弥生月の名のように沢山の草木、花々が咲き始めます。今年最初のぶれいんがこの時期になってしまったことは編集責任者としては力不足ですが、今年もいろいろ

な病院の情報を「ぶれいん」から発信できればいいなと思っています。

さて当院が開院して今年で13年になります。病院は年々発展を遂げ医学の進歩に遅れることなく地域での信頼を得ています。新病棟も着々と工事が進み開設に向け準備を整えています。

我々職員も新たなるステージに向け気合を入れて頑張りましょう「気合だ！」

(吉野)

